

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2017-119029(P2017-119029A)

【公開日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-025

【出願番号】特願2015-257577(P2015-257577)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/008 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/008 1 2 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月12日(2018.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

治療レーザ光を集光させることによりプラズマを発生させ、該プラズマにより患者眼の治療対象部位の治療を行う眼科用レーザ治療装置において、

前記患者眼に前記治療レーザ光を照射する照射光学系と、

前記治療レーザ光の集光位置を所定の集光基準位置に対して光軸方向に調整する位置調整手段と、

前記治療レーザ光の照射エネルギーを調整するエネルギー調整手段と、

治療レーザ光の集光位置と該集光位置に対する照射エネルギーとの許容される組み合わせを評価するための評価情報を記憶する記憶手段と、

前記位置調整手段及び前記エネルギー調整手段により調整された集光位置と照射エネルギーの組合せを前記評価情報に基づいて評価する評価手段と、

を備えることを特徴とする眼科用レーザ治療装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の眼科用レーザ治療装置は、

前記評価手段は、前記治療レーザ光の照射前に評価する、

ことを特徴とする眼科用レーザ治療装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の眼科用レーザ治療装置は、

前記評価手段は、非治療対象部位への前記プラズマの影響を考慮して評価する、

ことを特徴とする眼科用レーザ治療装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の眼科用レーザ治療装置は、

前記評価手段は、前記集光位置と前記照射エネルギーの組合せが所定条件に当てはまるか否かを評価する、

ことを特徴とする眼科用レーザ治療装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の眼科用レーザ治療装置は、

前記評価手段は、前記評価結果に基づいて前記集光位置と前記照射エネルギーの少なくともいずれかを補正する、

ことを特徴とする眼科用レーザー治療装置。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の眼科用レーザー治療装置は、
前記評価手段による前記評価結果を報知するための報知手段を備える
ことを特徴とする眼科用レーザー治療装置。